

高浜市の未来を創る市民会議 「実行テーマ」一覧

基本計画「こんなことに取り組みます」のうち、

市民のみなさんや地域との関わりが深いものをピックアップし、

市民と行政が協働で実行にあたっていきます。

目次

財政分科会

- 市民のみなさんに市の財政状況を解ってもらおう . . . 1

自治推進・協働分科会

- 自治基本条例の子ども向け副読本を考えよう! . . . 2
- 自治基本条例を頂点とする条例などを体系化しよう! . . . 3

教育・子ども分科会

- 教育・子どもをめぐる地域連携のあり方考えよう! . . . 4

産業・観光分科会

- 「これは売れる! (いける!)」情報を集めよう! . . . 5

環境・憩いの場分科会

- 「高浜市分別便利帳」の作成・配布 . . . 6

防犯・防災 快適な都市空間分科会

- 地域防災ネットワーク(案)を考えよう! . . . 7
- 標高の「見える化」を考えよう! . . . 8

地域福祉分科会

- NEW ボランティア人の発掘 . . . 9

健康分科会

- 「健康たかはま21」の推進 . . . 10
- 「いきいき健康マイレージ」事業の推進 . . . 11

財政分科会の「実行」テーマ

市民のみなさんに市の財政状況を解ってもらおう！

★ 取組内容 ～ こんなことを目指していきます！

○市民のみなさんと行政がともに、市の財政の健全化へ取り組んでいくための土台として、現在発行している「わかりやすい予算書」も含め、より多くの市民のみなさんに市の財政状況を解ってもらう「仕組み」を考える。

★ 検討の視点・ポイント ～ こんなことをみんなで考えていきたい etc.

○「わかりやすい予算書」のゼロベースでの見直し
○市民目線による市の財政課題の分析・周知
○情報のアウトプットの仕方（勉強会の実施、配布方法など）

★ 特記事項 ～ 分科会メンバーの意気込み、これだけはお伝えしておきたい etc.

○「市の財布（財政）は市民の財布」と思える方をひとりでも多く増やしたい。
○もっと、もっと考える時間が欲しいし、自ら「実行」に加わりたい。

★ 基本計画・アクションプランとの関連

目標	(2) 次世代のために、健全な財政運営を行います
みんなで目指すまちづくり指標	①将来負担比率 現状値 20.9% → 目標値(2013) 将来負担なし ②市の財政状況に関心を持っている人の割合 現状値 74.2% → 目標値(2013) 80%
こんなことに取り組めます！	★ 予算編成のプロセスや財政状況などを「わかりやすい予算書」などにとりまとめ、市民にわかりやすくお伝えするとともに、考えることができる環境を整えます。
アクションプラン	No.4 わかりやすい財政運営事業

自治推進・協働分科会の「実行」テーマ

① 自治基本条例の子ども向け副読本(案)を考えよう!

★ 取組内容 ～ こんなことを目指していきます!

- ・小学生向けに、自治基本条例の副読本を作成する。
- ・イラストを中心に、マンガ風に自治基本条例の内容を説明する。

★ 検討の視点・ポイント ～ こんなことをみんなで考えていきたい etc.

- ・子どもにも分かりやすい表現
- ・次の時代を担う子どもたちにも、まちづくりに関心を持ってもらう
- ・子どもを通じた、大人(親)へのPR
- ・副読本を活用した、「自治基本条例を広め隊」による子ども向け出前授業の実施

★ 特記事項 ～ 分科会メンバーの意気込み、これだけはお伝えしておきたい etc.

<その他の案>

- ・寸劇 ・紙芝居 ・クイズ形式の出前授業 ・スタンプラリー
- ・お祭りやラジオ体操など、人(子ども)の集まる場所で、宣伝
- ・小中学校の登下校時に「あいさつ・PR運動」

<意気込み>

- ・自治基本条例のPRが最終目的ではない。PR等を通して、地域活動・まちづくりに参加してくれる人を増やしていこう!

★ 基本計画・アクションプランとの関連

目標	(3) 市民と行政が信頼関係を深め、 ともにまちづくりを行います
みんなで目指すまちづくり指標	「高浜市自治基本条例」を知っている人の割合 現状値 — → 目標値(2013) 30%
こんなことに取り組みます!	★ 「高浜市自治基本条例」に基づいた自治の仕組みを分かりやすく示し、まちづくりの中で活用します。
アクションプラン	No.9 自治基本条例推進事業

自治推進・協働分科会の「実行」テーマ

② 自治基本条例を頂点とする条例などを体系化しよう！

★ 取組内容 ～ こんなことを目指していきます！

- ・自治基本条例に関連する既存・新規の条例等を洗い出し、体系化を検討する。

★ 検討の視点・ポイント ～ こんなことをみんなで考えていきたい etc.

- ・自治基本条例の理念を実現するための条例等を整備し、活かした条例にする。
- ・条例の体系化をすることで、市民の皆さんに、何に基づいて、市政運営・まちづくりが行われているかを分かりやすくお知らせする。

★ 特記事項 ～ 分科会メンバーの意気込み、これだけはお伝えしておきたい etc.

- ・分かりやすいまちづくりが行われるといいね。
- ・理念条例である自治基本条例を具体化する大事な方針を分かりやすく示してほしい。
- ・自治基本条例をつくって終わりにせず、具体的にまちづくりをしていくための仕組みが整えられるといいね。

★ 基本計画・アクションプランとの関連

目標	(3) 市民と行政が信頼関係を深め、 ともにまちづくりを行います
みんなで目指すまちづくり指標	「高浜市自治基本条例」を知っている人の割合 現状値 — → 目標値(2013) 30%
こんなことに取り組みます！	★ 「高浜市自治基本条例」に基づいた自治の仕組みを分かりやすく示し、まちづくりの中で活用します。
アクションプラン	No.9 自治基本条例推進事業

教育・子ども分科会の「実行」テーマ（案）

教育・子どもをめぐる地域連携のあり方を考えよう！

★ 取組内容 ～ こんなことを目指していきます！

- ・ 子どもたちが高浜で生まれ、育ち、いきいきと生活していくために、地域社会で必要な教育資源(人材、自然、文化、歴史、産業等)を活用し、「子育て子育て・学校教育・生涯学習」に関する様々な取り組みを充実させます。
- ・ 園、学校を地域のコミュニティ活動の場とし、教師、家庭、地域の多様な団体との交流を活性化させます

★ 検討の視点・ポイント ～ こんなことをみんなで考えていきたい etc.

【ポイント】

- ・ 地域と行政の相互で情報共有することで、地域で子どもを育てていくためのアイデアを出し合います。
- ・ 地域ができること、行政がなすべきこと、協働して行うことを明確化し、事業を展開します。
- ・ あらゆる年代のさまざまな立場の方が参加、参画できる事業を実施します。

★ 特記事項 ～ 分科会メンバーの意気込み、これだけはお伝えしておきたい etc.

- ・ この分科会で扱うテーマはまだ仮決定ですが、メンバーの間では、「教育や子育てについての地域の関わり」ということについて、今後検討していくことでコンセンサスを得ています。
- ・ 地域と子どもたちの関わりをどのように進めていくか、次回以降、具体的に話し合っていく予定です。

★ 基本計画・アクションプランとの関連

目標	(4) 学びを通して人づくりを進め、夢と希望につなげます (5) 心たくましく健やかに育つ教育環境をつくります
みんなで目指すまちづくり指標	・ 高浜市に愛着や誇りを持っている人の割合 64.0% (現状値) → 68% (2013) ・ 過去1年間に地域行事、ボランティア活動に参画した子どもの割合 13.6% (現状値) → 20% (2013)
こんなことに取り組みます！	☆地域・学校・事業者・関係機関との連携により、市民に学ぶ喜びや楽しさ、ものづくりの素晴らしさを伝えます。 ☆子どもが主体となって地域活動に参画できる環境をつくり、家庭・地域・学校との交流を活性化します。
アクションプラン	No.16 生涯学習教育活動推進事業① (生涯学習プロデュースネット) No.23 教育環境整備事業④ (地域活動への参画)

産業・観光分科会の「実行」テーマ

「これは売れる！（いける！）」情報を集めよう

★ 取組内容 ～ こんなことを目指していきます！

「高浜にはなんにもナイ」そんな風に思っていたらもったいない。困りごとだっ
て見方を変えればビジネスチャンスになるかも……。ちょっとした気付きが、
高浜市のイメージを一新することにつながるかもしれません。市民会議のみなさ
さんと一緒に「これは売れる！」「これはいける！」情報を集めます。地域資源の
掘り起こしから、この冬予定の「コミュニティビジネス講座」の素材に育ててい
ければと思います。

★ 検討の視点・ポイント ～ こんなことをみんなで考えていきたい etc.

- ・ 「すごい人」「おいしいもの」「こまりごと・・・」などの情報を収集・整理・
ストックするにはどうすればよいか？
- ・ コミュニティビジネスを継続するため、みんなのマインドを育てるにはどう
したらよいか？

★ 特記事項 ～ 分科会メンバーの意気込み、これだけはお伝えしておきたい etc.

7/28の分科会で「テレビで紹介されたら反響がすごく、まちには魅力的なも
のが隠れていると思った」「素晴らしい活動をしている人がいたが、行政の担当
者が変わったらその活動が消えちゃったってウワサ・・・」「すごーく美味しいカ
ボチャを作っている人を知ってる！」etc.という声が早速だされました。情報を集
め、ストックしていくには？分科会メンバーだけでもこれだけ話がでるのだから、
市民会議のみんなで取り組めば新しい観光資源発見にも展開できるはず！分
科会を越えての情報交換をお願いします！

★ 基本計画・アクションプランとの関連

目標	(8) 地域に根ざした新たなビジネスの芽を育みます
みんなで目指すまちづくり指標	コミュニティ・ビジネスの事業数 (試験的運営含む) 現状値 0件 → 目標値(2013) 2件
こんなことに取り組みます！	★コミュニティ・ビジネスの創出に向けて、PR および支援を 行います。
アクションプラン	NO.38「コミュニティビジネス創出・支援事業」 NO.37「地域商店情報発信事業」 NO.39「観光推進事業」

メインはNo.38 ですが、
No.37No.39 にも展開し
ていきたいです

環境・憩いの場 分科会の「実行」テーマ

「高浜市分別便利帳」の作成・配布

★ 取組内容 ～ こんなことを目指していきます！

ごみの減量化やごみ出しマナーの向上のため、可燃ごみや分別の仕方をわかりやすく説明する「ごみ分別便利帳」は、平成19年に改訂版を発行しましたが、以降、収集方法の変更や追加事項が生じており、リニューアルが必要になっています。環境・憩いの場分科会では、メンバーをはじめ、市民会議のみなさんの意見も集めながら、より見やすく、わかりやすい最新版を作っていきたいと思えます。

★ 検討の視点・ポイント ～ こんなことをみんなで考えていきたい etc.

- ・ ごみ出しルール・マナーを向上させ、不法投棄・ポイ捨てをやめさせるにはどうしたらいいか？
- ・ リサイクルの向上を目指すため、分別方法をもっとわかりやすく説明するにはどうしたらいいか？
- ・ 家電リサイクル法のほか、クリーンセンターや不燃物埋立場の利用方法などごみ処理に関する情報をもっとお知らせしたい。
- ・ 普段から分別に慣れている(?)分科会メンバーの意見は貴重。特に今回は、外国人メンバーの視点も入れて、これまでにない「分別便利帳」にしたい！

★ 特記事項 ～ 分科会メンバーの意気込み、これだけはお伝えしておきたい etc.

環境・憩いの場分科会のメンバーは、日ごろから、市内の美化活動に携わっています。まちのイメージを悪くする、ポイ捨てや不法投棄、なんとかしたいと思うことが一杯です。みんなでまちをきれいにしよう！

★ 基本計画・アクションプランとの関連

目標	(9) みんなでまちをきれいにします
みんなで目指すまちづくり指標	1人1日あたりの家庭系ごみ排出量 現状値 556g → 目標値(2013) 400g
こんなことに取り組みます！	☆「高浜市ごみ処理基本計画」に基づき、ごみの減量化に取り組みます。
アクションプラン	No.42 ごみ減量リサイクル推進事業

防犯・防災 快適な都市空間分科会の「実行」テーマ

① 地域防災ネットワーク(案)を考えよう

★ 取組内容 ～ こんなことを目指していきます！

「いざ」という時の「備え」「構え」、市民・地域・事業者・関係機関・行政の連携・協力体制は必ずしも十分とは言えません。身近な者同士がお互いに助け合える仕組みを構築し、危機・災害発生時の対応能力を高めていくために、市民会議からの視点を取り入れて「地域防災ネットワーク(案)」を検討し、実践・実行につなげていきます。

ex. 情報共有(収集・伝達)の仕組み、避難所の運営のあり方、要援護者の支援

★ 検討の視点・ポイント ～ こんなことをみんなで考えていきたい etc.

- ・ 高浜市の「強み・弱み」(現状・課題)を市民目線で洗い出す。
ex. 情報伝達の手法に対する不安感が強い。
- ・ 「まずはやってみる」を合言葉に、市民会議全体で知恵を集め、ある程度のタタキ台が出来上がったなら防災訓練等で実践してみるなど、検討・実践を繰り返しながら、練り上げていきたい。

★ 特記事項 ～ 分科会メンバーの意気込み、これだけはお伝えしておきたい etc.

「時間が経つと、災害に対する意識・関心は薄れてしまう」「自分だけは大丈夫と思っている人が多い」という声が多々ありました。「絵に描いた餅」としないためには、「大家族」一人ひとりに、どうやって「自分ごと」として関心を持っていただけるようにするかが課題です。「大家族」がそれぞれ役割を持ち、支え合う仕組みができるように、市民会議全体で知恵を集めていきたいと思えます。

★ 基本計画・アクションプランとの関連

目標	(12) 安全・安心が実感できる基盤づくりを進めます
みんなで目指すまちづくり指標	地震の備えができていると感じている人の割合 現状値 22.3% → 目標値(2013) 25%
こんなことに取り組みます！	★ 地域全体が連携できるように、実践に即した防災ネットワークづくりを進めます。 ★ 災害時の緊急事態が発生した場合に、全市をあげて迅速かつ総合的に対応する危機管理体制を整えます。
アクションプラン	No.52 防災ネットワーク推進事業 No.51 危機管理体制強化事業

防犯・防災 快適な都市空間分科会の「実行」テーマ

② 標高の「見える化」を考えよう！

★ 取組内容 ～ こんなことを目指していきます！

「いざ」という時に、「自分は今何mの高さの場所にいる」ということがわかるように、まちの中（ex.電柱、建物）に標高を示すサインを設置するためのアイデアを、市民会議のみなさんと一緒に考えていきたい。

★ 検討の視点・ポイント ～ こんなことをみんなで考えていきたい etc.

- ・ どういうデザインにしたらよいか。（ex.見やすい色、文字、わかりやすさ、材質）
- ・ どういう場所に設置したらよいか。（ex.設置の高さ、場所のリストアップ）

★ 特記事項 ～ 分科会メンバーの意気込み、これだけはお伝えしておきたい etc.

- ・ 東日本大震災以降、津波対策に対する関心が非常に高まっていることから、「標高の見える化」第1弾として、各まちづくり協議会や町内会からの意向を受けて、地域の防災訓練に役立てていただくこと、標高を色別で図示したマップを作成しました。こうしたことをきっかけに「自らの安全は自らが守る」という意識向上に少しでもつながっていけば・・・と思います。

★ 基本計画・アクションプランとの関連

目標	(12) 安全・安心が実感できる基盤づくりを進めます
みんなで目指すまちづくり指標	地震の備えができていると感じている人の割合 現状値 22.3% → 目標値 (2013) 25%
こんなことに取り組みます！	★ 地域全体が連携できるように、実践に即した防災ネットワークづくりを進めます。 ☆ 事故・事件を未然に防ぐとともに、発生後に適切な対応を行うことができるよう、情報収集に努め、正確な情報を発信します。
アクションプラン	No.52 防災ネットワーク推進事業

地域福祉分科会の「実行」テーマ

① NEWボランティア人の発掘

★ 取組内容 ～ こんなことを目指していきます！

- ・ボランティアを知ってもらう
- ・新たなイベントをつくる

★ 検討の視点・ポイント ～ こんなことをみんなで考えていきたい etc.

- ・ボランティア活動の把握（情報収集）
- ・イベントの開催（わくわくフェスティバル等の活用）
- ・ボランティア活動の紹介
- ・避難拠点の在り方を考える
- ・地域、事業所、企業、行政の協働で進める

★ 特記事項 ～ 分科会メンバーの意気込み、これだけはお伝えしておきたい etc.

今、東北の被災地では生き残るための支え合いが行われている。多動の方を受け入れられない地域は、認知症者も受け入れられない。福祉のまち高浜は、そういったことがあってはいけない。東北を教訓にし、現地で起こっていること、高浜だったらどのように救えるのか、この地域での大震災や津波に備え、考えながら進めていきます！

★ 基本計画・アクションプランとの関連

目標	(13) 一人ひとりを認め合い、その人らしく暮らせるまちづくりを進めます
みんなで目指すまちづくり指標	ボランティアひろばセンター登録数（人口1万人当たり） 現状値 385人 → 目標値（2013）470人
こんなことに取り組みます！	☆「高浜市地域福祉計画」に基づき、「つながり、支え合い、安心のしくみづくり」を進めます。 ☆地域や当事者などが連携して福祉イベントを創出するなど、福祉に対する理解を広く推進するとともに、顔が見える関係づくりを行います。
アクションプラン	No.61 地域の「つながり、支えあい」応援事業

健康分科会の「実行」テーマ

① 『健康たかはま21』の推進

★ 取組内容 ～ こんなことを目指していきます！

- ・『健康たかはま21』における5つのゴール・11分野の実現のための推進体制を作ります。

★ 検討の視点・ポイント ～ こんなことをみんなで考えていきたい etc.

- ・取組みを「3つの枠（個人・地域・行政）」で考えていく。
- ・「3つの枠」の協働により実現していく。
- ・個人・地域・行政をどう繋げていくのかが課題。

★ 特記事項 ～ 分科会メンバーの意気込み、これだけはお伝えしておきたい etc.

毎日の運動、バランスのとれた食事、十分な睡眠など、健康で規則的な生活を続けることで“健康寿命”を延ばしましょう！
特に一次予防の推進に重点を置き、心身ともに健康な市民を増やそう！

★ 基本計画・アクションプランとの関連

目標	(14) 一人ひとりの元気と健康づくりを応援します
みんなで目指すまちづくり指標	栄養や食生活に気をつけている人の割合 現状値 80.2% → 目標値 (2013) 83%
こんなことに取り組みます！	☆「健康たかはま21」に基づき、市民一人ひとりのライフステージに応じた一次予防や要介護対策、健康づくりを進めます。 ☆健康づくり推進委員や地域の様々な団体が推進役となって、ウォーキング、健康体操・運動、講座といった地域での健康づくり活動を広げます。 ☆生涯を通じて健全な食生活を実践し、自らの健康を守るため、学校や地域などあらゆる場所や機会を通じて、食育を推進します。
アクションプラン	No.66 「健康たかはま21」推進事業

健康分科会の「実行」テーマ

② 「いきいき健康マイレージ」事業の推進

★ 取組内容 ～ こんなことを目指していきます！

- ・登録者数の増
- ・ポイントのつく活動の増

★ 検討の視点・ポイント ～ こんなことをみんなで考えていきたい etc.

- ・特に男性の登録者を増やすための検討
- ・「福祉ボランティア活動」に参加しやすい環境づくりの検討
- ・ポイントのつく活動を広げる検討

★ 特記事項 ～ 分科会メンバーの意気込み、これだけはお伝えしておきたい etc.

- ・活動に参加して健康増進をはかりたい！
- ・活動の中から世代間交流も生まれたらいいな！

★ 基本計画・アクションプランとの関連

目標	(14) 一人ひとりの元気と健康づくりを応援します
みんなで目指すまちづくり指標	日常的に運動やスポーツを行っている人の割合 現状値 34.3% → 目標値 (2013) 40%
こんなことに取り組みます！	☆「健康たかはま 21」に基づき、市民一人ひとりのライフステージに応じた一次予防や要介護対策、健康づくりを進めます。
アクションプラン	No.64 高齢者の生きがいと健康づくり応援事業